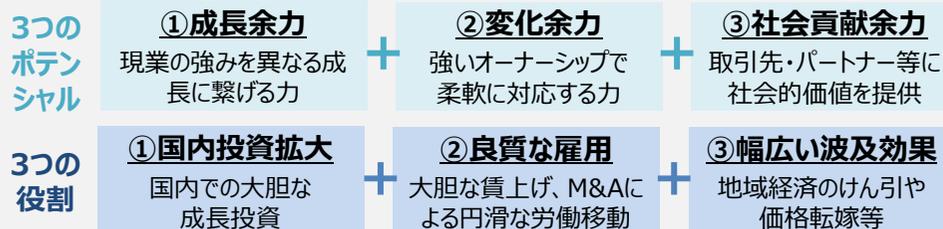


中堅企業成長ビジョン（概要）

- 賃上げと投資が牽引する成長型経済への移行における中堅企業の重要性を踏まえ、**中堅企業の役割や課題、官民で取り組むべき事項をまとめた「中堅企業成長ビジョン」**を策定。
- 本ビジョンを基に、関係省庁の施策を再構成し、**中堅企業成長促進パッケージ**を取りまとめるとともに、今後も、施策の深化を図り、**中堅企業等地域円卓会議**を通じて、**重点支援企業を選定**の上、施策の効果を全国津々浦々に届けていく。

1

中堅企業の役割



● KGI（2030年～）
中堅企業の成長を
政府目標の4倍以上
(実質成長率4%/年以上)

● KPI（2030年まで）
・約1割の中堅企業が**10%/年以上生産性向上**
・中堅企業の**M&A数を約倍増（1千件/年）**
・中堅企業数を約**2割増（+2千者）**

2

中堅企業の成長経路

- ①**産業機械製造業**：コア技術を磨き、海外展開でグローバルニッチトップへ
⇒ **大規模な研究開発・設備投資、産業用地の確保**等が課題
- ②**食品品製造業**：農業・小売との連携による、省力化・高付加価値化
⇒ **海外展開人材・パートナー確保、価格転嫁**等が課題
- ③**小売業**：専門領域での高付加価値化又は地域密着のサービス拡大
⇒ **DXやM&Aにかかる経営人材・ノウハウ不足**等が課題
- ④**情報サービス業**：特定領域でシェアを確保、ネットワーク効果を利かせて拡大
⇒ **IT人材の確保**や、国際展開のハードルの高さ等が課題
- ⑤**宿泊業**：外部資本も活用し、運営能力を高め、フランチャイズ等で拡大
⇒ **長期資金の調達**や、**地域ごとに異なる条例規制**が課題 等

3

自律的成長に向けた課題と官民で取り組むべき事項

（1）成長ビジョン・ガバナンス

①成長ビジョン

- 成長ビジョンや経営体制が未整備なために、資金や人材等の獲得と有効活用に苦戦
- **施策の対象を成長志向の企業に重点化**し、中小から中堅企業、さらにその先への成長を後押しするシームレスな政策体系を構築、**支援企業の取組や成長ビジョンを広く社会に情報発信**

②ガバナンス

- ファミリービジネスは長期志向・迅速な意思決定という強みを有する一方、経営者の独善行動、お家騒動、後継者不足といった課題あり
- **ファミリーガバナンスの規範策定、企業価値向上を阻害する制度の見直し**

（2）伴走支援・ソフトインフラ

①資金調達

- 最適な手法・パートナー選択による大規模投資等の資金調達が課題、ファンド活用も不十分
- **中堅・中小大規模成長投資補助金**、政府系・民間金融機関等の競争・協調を促す枠組構築
- エンゲージメントファンドの育成、**エクイティ活用ガイドブック（仮称）**の作成

②人材確保

- 大企業から中堅企業等への経営人材等の流れが必ずしも大きくなっていない、現場人材も不足
- **金融機関が中堅企業等の経営人材の確保を後押しする事業（レビキャリア事業）**等を推進
- 人的資本経営コンソーシアムの地域展開
- 省力化投資のモデル事例創出・普遍化

③M&A

- 買い手の統合ノウハウ不足、のれんの定期償却
- **中堅・中小グループ化税制**、のれん非償却を含めた財務報告のあり方の検討

④イノベーション

- 野心的な研究開発への投資に課題
- イノベーションの促進に資する税制の活用

⑤海外展開

- 海外展開のパートナー探索等に課題
- JETROハンズオン支援、NEXI支援メニュー拡大

⑥専門家活用

- 地方部では高度な専門家へのアクセスが限定的
- 専門家ネットワーク構築、優良専門家の可視化

⑦GX・DX

- GX・DXを推進する人材・ノウハウの不足
- 省エネ設備導入支援、デジタル人材育成